

# 弘前城石垣修理

## 第18回 ～令和3年度の工事を振り返る～

弘前城跡本丸石垣東面（北側）積直し工事は、解体した2,185石のうち1,107石を積み直すもので（※1）、令和3年6月23日に第1石目となる『イ-504』（※2）の築石（つきいし）を元の場所へ配置し、本格的な積み直しを開始しました。



▲石垣積み直し工事の工区分け（※1）



◀『イ-504』配置の様子  
▼解体前の『イ-504』（※2）

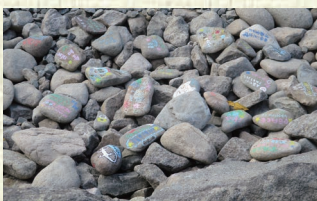


7月から8月上旬にかけては、石垣の基礎となる根石付近での作業を行いました。この部分は野面石（のづらいし）と呼ばれる不整形な石が多く、積み直しが困難かつ基礎として重要な部分でもあるため、時間をかけて細かな調整を行いました。

その後、現場内の一角で、次に積む予定の石を3段程度仮組みし、孕（はら）みを修復するための角度調整や石同士のかみ合わせの確認など入念な準備を経て、慎重に積み直しを進めてきました。

根石付近の石垣16段目の積み直しが完了した

10月29日には、令和元年8月11日に開催した体験イベントの参加者がメッセージを書き込んだ『メモリアルストーン』を裏込



▲メモリアルストーン（※3）

石として敷き詰めました（※3）。

11月1日～7日には、弘前城菊と紅葉まつりの開催に合わせて『弘前城の歴史にふれるday』と題し、石垣積み直しの現場見学（※4）と裏込石メッセージ記入（※5）という2種類の公開・体験イベントを開催し、好天に恵まれ、多くの人が参加しました。この期間に記入されたメッセージ入りの裏込石は、11月17日に石垣15段目上部の背後に敷き詰めました（※6）。



▲現場見学風景（※4）



▲メッセージ記入風景（※5）

石垣14段目から上は布積（ぬのづみ）という積み方になっており、形が整えられた石が多いことから順調に作業が進み、12月22日には13段目までの積み直しが完了、12月末時点で12段目の石を仮組みした状態となりました（※7）。冬期間はシートをかけて現場養生をするため、今年度の作業はほぼ終了です。

令和4年度には、北側工区の積み直し工事が完了し、南側工区に着手する予定です。雪解け後の工事再開の具体的な日程や作業内容については、改めて広報ひろさき等でお知らせします。



▲15段目上部のメッセージ入り裏込石（※6）

令和4年度には、北側工区の積み直し工事が完了し、南側工区に着手する予定です。雪解け後の工事再開の具体的な日程や作業内容については、改めて広報ひろさき等でお知らせします。

令和4年度には、北側工区の積み直し工事が完了し、南側工区に着手する予定です。雪解け後の工事再開の具体的な日程や作業内容については、改めて広報ひろさき等でお知らせします。



▲13段目の積み直しと12段目仮組み作業（※7）

※弘前城本丸石垣修理事業について、詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎33-8739）